

令和8年度



# 園だより

7月号

杉並区立高井戸西子供園

教育目標 「あそびがすき ともだちがすき じぶんがすき」

## 「小さな生き物との出会いを通して」

副園長 大萩 純子

子どもたちには小さな生き物に出会う機会が様々あります。春先になるとダンゴムシが出てきました。ダンゴムシは、触られた瞬間に丸い団子のようになり、しばらくすると体を伸ばしてゆっくりと歩き出すので子どもたちは、その様子を興味津々に見ています。ある日、年中組、年長組の子は、花壇の端にあるレンガやプランターを、両手でぐっと動かして物陰に隠れていたダンゴムシをたくさん見つけていました。昨年までに、繰り返しダンゴムシを見つけて遊んだ経験から、隠れていそうなところが分かるのです。そして見つけれない時には「どこにいるかな？」と呟きながら隠れていそうな所を考えて探したり、友達から教えてもらったりしていました。中でも年中組は自分でダンゴムシを探し出すととても喜び、小さなバケツや、プリン容器などに入れて、「見て！大きいでしょ。」「小さいのは赤ちゃんで、大きいのはお母さんだよ。」と言って、友達や教師に見せていました。やがて、年少組の子も、年中組、年長組の姿からダンゴムシの隠れ場所を知って探し始めました。初めはダンゴムシを強くつまんだり、手のひらでぎゅっと握りしめたりしていましたが、繰り返すうちに、優しく扱うことや、飼育ケースに入れて大切にする方法等が分かってきました。

梅雨に入ると、植木の周辺で大きな（4cmほどの）カタツムリに出会いました。雨を受けて目を覚ましたようです。年中組はカタツムリに「かたかたちゃん、かのんちゃん」と名前を付けてかわいがり、飼育ケースの中を這って動く様子を、毎日不思議そうに見ていました。図鑑で調べて餌は野菜がいいことを知り、キャベツをあげると、吸い付くように食べて、翌日は緑の糞をすることが分かりました。ところが、別日にニンジンあげたらオレンジ色の糞が出たことに子どもたちは気づき、びっくりしていました。

他の野菜では黒い糞が出る日もあるので、子ども同士で「なぜかな？」「食べたものの色の糞がでてくるのかな。」と話していました。このように子どもたちは、小さな生き物との出会いを通して、不思議さを感じ「なぜだろう。」「今度はどうなるのかな。」という気持ちになったり、大切に扱う方法を知ったりしています。それは、子どもたちの物事に対する好奇心や探究心の芽生えと、命あるものを大切にする気持ちにつながる大切なことです。

幼稚園教育要領解説の中には、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、育みたい資質・能力が育まれる具体的な姿として「幼稚園の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示されています。その中の（7）自然との関り・生命尊重の項目には、“自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えていくようになる。”と明記されています。

このことは、すぐに身に付くものではなく、修了までの間に段々と育っていくものです。本園でも、このことを意識し、今後も子どもたちが小さな生き物との出会いを通して成長していけるようにしていきます。

さて、各組の飼育ケースからカブトムシの成虫が出始めています。本園では前年のカブトムシが生んだ卵を、幼虫、蛹、成虫になるまで大切に育ててきました。今年は何匹出てくるかな？どんな様子かな？これからカブトムシの話題が子どもたちからご家庭で出ることと思います。保護者の皆様も子どもたちの話に共感していただけたら幸いです。

# 【7月の保育】

## 年少ことり組

身の回りの支度の仕方が分かってきて自分で進めてみようとするようになってきました。ダンゴムシや忍者などになったつもりになって動くことを楽しんだり、自分のつくったものを身に付けて遊ぶ楽しさを感じたりしています。園庭ではネコとネズミの追いかっことをして体を動かす楽しさを感じています。また、雨の降る様子を見たり、カタツムリを見付けたりしたことをきっかけに梅雨の季節を感じながら遊ぶことを楽しんでいます。

今月は、水遊びやプール遊びをする中で、水の冷たさや気持ちよさを十分に感じながら遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

衣服の着脱もやり方を伝えながら、自分で着替えることを繰り返せるようにしていきます。ご家庭でも、自分で着替えをする姿を支えていただきますようご協力をお願いします。

## 年中うさぎ組

6月からプール遊び、水遊びが始まりました。子どもたちは、大きなプールで遊べることをとても楽しみにしており、プール開始日前日から「明日はプール！」と喜んでいました。プールの解放感や水の冷たさ、心地よさを味わいながら楽しく活動をしています。

7月の遊びでは、保育者や気の合う友達と触れ合ったり関わったりして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。身の回りのことや衣服の着脱などの生活面では、自分のことを自分でしようとするようになってきました。引き続き、自分でできることは見守り、自分でできた嬉しさを感じられるようにします。

暑い日が増えたことや、プール活動をしていることで、普段より体力が消耗しやすいようです。ご家庭では食事と睡眠を十分にとって体調を整えていただきますようご協力をお願いいたします。

## 年長そう組

プール・水遊びが始まりました。水の心地よさを感じながら、「水に顔をつけてみよう。」「バタ足してみよう。」など、自分なりのめあてに向かって取り組めるようにしていきます。

遊びでは、家庭で経験したことを再現したり、友達のしていることから刺激を受けて遊び始めたりしています。3人程度の友達とつながりを感じ、工夫しながら遊びを進めようとするようにもなってきました。今月は、自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の思いを受け止めようとしたりする姿を支えていきます。

自分たちで育てている夏野菜も、次々と収穫の時期を迎えます。みんなで食べる喜びも味わえるようにしていきます。

夏の暑さやプール遊びで疲れが出やすい時期になります。子どもたちが元気に過ごせるよう、家庭での生活リズムの調整など、ご協力ください。